

＜他集落との連携、高齢農家等への支援に取り組む事例＞

小規模・高齢化集落の相互一体となった農業の展開

1. 集落協定の概要

市町村・協定名					鹿児島県始良市 北山上					
協 定 面 積 17.1ha		田 (100%)		畑		草地		採草放牧地		
		水稲								
交 付 金 額 436万円		個人配分 50%								
		共同取組活動 (50%)		農業生産活動等の体制整備に対する経費						26%
				水路・農道・農用地の維持管理						17%
				機械等購入積立金						7%
協 定 参 加 者		農業者 33人							開始：平成22年度	

2. 取組に至る経緯

当地域には木場、堂山、山花の3つの集落があり、それぞれの集落で中山間地域等直接支払制度に取り組んできたが、高齢化が進む中、役員のなり手である担い手不足等によって、3期対策初年度は堂山集落だけが協定を締結していた。

このような中、地域での話し合い活動を継続し、当地域のような中山間地域で営農活動に取り組んでいくためには本制度の活用が不可欠であるとの結論に至ったことから、3つの集落が統合し、改めて集落協定を立ち上げることになった。

これに際し、3期対策から新たに導入された小規模・高齢化集落支援加算も活用することで、より前向きな活動に取り組むこととなった。

3. 取組の内容

現在、当協定では集落ぐるみの鳥獣被害対策に取り組んでいる。ビデオ研修による基礎知識の取得や集落環境点検を実施し、周辺林地のヤブ払いなど集落環境改善の共同活動を展開している。集団的かつ持続可能な体制整備（C要件）にも取り組んでおり、3集落が一体となった集落営農への気運も高まっている。

また、小規模・高齢化集落支援に取り組む、休耕地や農道の草刈りの支援を実施している。

今後は、農用地の維持・管理のためにさらなる集落ぐるみの鳥獣被害対策を実施しながら、5～10年後の担い手を早急に確保するための体制づくりを進めることとしている。



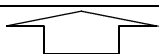
【3集落合同の話し合い活動】



【集落ぐるみの鳥獣被害対策】

【集落の将来像】

- 集積対象者を核とした農業生産活動等の体制整備を図り、高齢化・担い手不足に対応した集落ぐるみの取組を推進する。



【将来像を実現するための活動目標】

- 協定農用地の拡大・農業生産条件の強化・担い手への農地集積・担い手への農作業の委託

【活動内容】

農業生産活動等	多面的機能増進活動	農業生産活動の体制整備
農地の耕作・管理 (田17ha) 個別対応	周辺林地の下草刈り (約1.0ha、年2回) 個別対応	農業生産条件の強化 (生産条件の改良による受益面積を5%増加) 共同取組活動
水路・農道の管理 ・水路4.0km、年2回 清掃、草刈り ・農道1.0km、年2回 草刈り 共同取組活動	景観作物作付け (景観作物としてレンゲ を約7.0ha作付け) 共同取組活動	担い手への農地集積・農作業の委託 (担い手による利用権設定等を 5%増加及び農作業受委託を10%増加) 共同取組活動
農地法面の定期的な点検 (年2回及び随時) 共同取組活動	加算措置としての取組等 小規模・高齢化集落支援 加算 (小規模・高齢化集落の 3集落が連携し、耕作・ 管理を実施) 共同取組活動	集団的かつ持続可能な体制整備 (集落ぐるみによる農業生産活動等の維持) 共同取組活動

4. 今後の課題等

鳥獣被害対策を集落ぐるみで取り組むことで集落の一体感の醸成を図ることができた。また、3集落が共同活動を実施することで集落営農に向けた気運が高まった。

今後は、地域の現状を勘案しながら、高齢化・担い手不足の解消のため、営農組織や後継者の育成に取り組んでいきたい。